

ペットの飼い方について

飼い始めたその日から、ペットの命は飼い主にゆだねられます。ペットが地域社会に受け入れられ、健康と安全が守られて生涯を送ることができるかは飼い主の努力にかかっています。

犬の飼い主が守るべきこと ～犬に多いトラブルを防ぐために～

ふん尿の始末は必ず行いましょう！



屋外でふんをした場合は、必ず持ち帰りましょう。
排泄を家で済ませてから、散歩に出掛けるようにしましょう。犬小屋の周囲など、普段、犬がいる場所の排泄物はすぐに片付けましょう。
排泄物の放置は不衛生で、誰にとっても不快です。

～犬のふんを持ち帰る方法について～

●ちり紙と持ち帰り袋（ポリ袋）で処理する場合

ふんにちり紙を置いてから持ち帰り袋(ポリ袋)に手を入れてちり紙ごとふんを掴みます。そしてそのまま袋を反転して袋の首を結べばOKです。
袋とふんを処理される場合は燃やせるごみとして処理してください。

屋外に犬を連れて行くときは必ずリードをつけましょう！



普段はおとなしい犬でも、リードを放してしまうと逃げたり、人に咬みつくことがあります。犬による咬傷事件のうち大多数が飼い犬によるものです。
危害を加えるおそれが高い犬を外に連れ出す場合は特に注意し、時間帯や場所にも注意しましょう。

問い合わせ先：由布市役所環境課 TEL097-582-1310